

第7回白石町学校統合再編審議会会議録（要約）

日 時：令和元年10月17日（木）19:00～20:25

場 所：白石町役場 3階大会議室

出席者

◆審議会委員19名

◆事務局

◆企画財政課職員

進行：学校教育課長

1 開会

進 行：皆さん、こんばんは。定刻となりました。委員22人中、只今の出席は18人でございます。3人欠席と1人遅れるという連絡をいただいておりますので、よろしく願い致します。それでは「第7回白石町学校統合再編審議会」を開催させていただきます。

では、お手元の「審議会次第」により進行させていただきます。

2 会長挨拶

進 行：松尾会長にご挨拶をいただきます。

会 長：皆さん、こんばんは。足元の悪い中、しかも昼のお仕事を終えられたあと、集まっていただきまして、大変ありがとうございます。前回は中学校を一応まとめました。今日からいよいよ小学校の統合再編について、話し合いをするということになりました。今日は7回目ですので、野球ですとバルーンが上がったりするわけですが、それもなく粛々と今日も審議を進めて行きたいと思っておりますので、ひとつ皆さん方、時間の許す限りよろしく意見交換をお願い致します。今日はありがとうございます。

進 行：ありがとうございました。

3 前回会議録の確認

進 行：前回会議録をお配りしていたが、何か誤りや不適切なところはなかったか。（特になし）

進 行：それでは、これで公開とさせていただきます。

4 議事

進 行：それでは、次第4、議事となるが、ここからの進行については、松尾会長にお願いする。

(1)事務局より資料説明【資料44～資料49】

議 長: それでは、わたくしが議事を進めて参りたいと思う。ご協力よろしく願います。(1)事務局より資料説明をお願いします。

(資料44～49について、事務局から説明)

議 長: ありがとうございます。只今、資料の説明があつたが、これについて何かご質問があるか。質問は後でもよいので、先の方に進みたいと思う。資料で気付いたことがあれば、立ち戻って質問の時間を作りたいと思うので、そちらでまたお願いをする。

次はグループ討議となっているが、やり方と資料の説明をお願いします。

事務局: それではグループ討議に入っていただくが、まず今日お配りした資料50の簡単な説明、そしてグループ対話の方法について説明をさせていただく。今日お配りした第7回資料(当日配布分)をご覧いただきたい。これにつきましては、何もデータがない中、あくまでも素案を読んでの意見ということで、現時点での審議会委員の皆さまの考えをまとめさせていただくため、事前調査を行った。時間がない中、本当に貴重な意見をいただき、ありがたく思っている。内容は後で確認していただくとして、おおまかな点のみ報告をさせていただく。

(資料50、グループ対話の方法について、事務局から説明)

議 長: ありがとうございます。何か質問はないか。なければ、今からグループ討議をお願いします。

(グループ討議 40分間)

進行: それでは時間となつたので、全体会の方に移りたいと思う。松尾会長に、進行をお願いします。

議 長: いろいろと意見交換をしていただいた。 それでは、これから各グループから意見交換の発表をしていただきたいと思う。5分ずつで報告をお願いします。

グループ1: 本日の資料を見て、事前調査時と意見が変わらないか、変わったかだが、変わらない委員が5人中4人、変わった委員が1人である。変わらない委員の意見としては、地域思考を強く持っているため、3校でよいと思う。先は1校への統合という意見だが、先のことはもっと後で考えればいい。いきなり1校というのは住民も戸惑うのではないか。計画的な財政計画を立て、まずは3校でスタートして、15年～20年後には1校再編を考えるべきだろう。事前調査の段

階でも、気持ちが揺れていて記入できなかった委員は、資料を見てもまだ揺れている部分がある、とのこと。当初は3校案ではなかった委員は、まずは3校でスタート、第1段階、第2段階と考えて、第2段階はもっと先の話になるだろうが、1校に再編する。住民の感情とかあると思うので、まず旧町単位の3校でスタートする。このグループで出ている意見は、将来的に1校を見据えた答申を出さないといけないのではないか、という話が出た。その中でも、まだ小学校は近くにあったほうがよいという気持ちも捨てきれない、といった意見もあった。

グループ2: このグループで出た意見を紹介したいと思う。大きく2点。1点は、1校への再編を見据えるということ。1人あたりに掛けられる教育費を考えた場合に、大規模校の方が十分掛けられるだろうという面。それから、白石高校、佐賀農業高校や現白石中学校に新しい中学校が開校した場合に、コンパクトな位置に配置ができる。学園都市的な構想等も考えられるのではないかとということがあがっている。この隣接したかたちというのは、やはり親から見ても、足を運びやすい環境、安心できる環境である等、そうしたメリットも考えられるといったところ。もう1点は、2校、3校への再編案である。将来的には1校への再編を見据えたかたちでという前提での意見ではあるが、今の段階では、2校や3校への再編という考えである理由には、コミュニティが広すぎない方がいいのではないかと。現有明中学校の施設がまだ十分に活用できるので、有効活用した方が、予算的にも良いのではないかと。できるだけ自力登校できる環境を残したいという意見があげられている。1校、2校案のどちらにしても、どこに立地するかという問題になると、必ず反対意見等が出て来るものと思っているが、基本的にどのようなビジョンで教育環境を整えていくかということを示しておく必要があるだろうという意見があがった。そのビジョンを理解していただくことが、答申を出して、町民の理解に繋がりがやすくなるのかなというところであり、目先のことだけではなく、先を見据えたかたちで、こういう構想のもとに考えているのだ、ということが必要になってくるのではないかと意見が出されている。

グループ3: このグループは、最終的には3校案が2人、1校案が3人となった。2校案だった1人の委員が、今日の資料、意見を聞いて、どうせするなら1校がいいのではないだろうかということと考えが変わっている。1校への再編の方が、住民にも説明がし易い。このように白石町の教育を変えていくのですよ、と言えるのではないかと。新しい校舎も建てば、住民の意識も変わってくるのではないだろうかという理由からである。あと、1校になった時、みんなさまざまな場所から寄って来れば、子どもたちは入りやすいのではないだろうか。大きいところに自分一人入って行くのではなく、みんながそれぞれの場所から来るわけで、そちらの方がいいのではないかと意見の委員がいらっしまった。また

他の委員からは、子どもたちのためには1校がいい。第1に子どものことを考えよう。あと地域のコミュニティは考え方次第でどうにでもなるのではないだろうか、という意見。1校に再編となれば、それなりにすんなりできるような気がする。感情論ばかりで3校にするのはどうかと思う。親が心配するよりも子どもたちは強い。子どもたちのための政策が必要である。今の原案の3校案には賛成はするが、最終的に第2次の再編がいつになるのか、そこはまだわかっていないので、これが5年後なのか10年後なのかというところを示して欲しい。第2次の再編が、仮に福富中が白石中に統合するのなら、いつ頃になるのかというところ。その他、1校だと子どもがかわいそう。遠くなると親が心配になるという意見も出た。

グループ4:この4人のグループは、事前調査の段階では、3校案が3人、2校案が1人だった。いろいろ意見が出たが、2校案の委員の意見として、福富地域の児童が少ないということ、学校間の偏りが出るのではないかと出された。最終的に、第7回の資料を見て、意見が変わったかどうかということだが、ほとんどの委員が3校案で変わりなかった。2校案と言われていた委員も、児童数や通学距離のバランスが取れるのであれば、3校案でもよいということで、結果的には圧倒的に3校案が多い。他の理由としては、グループ1でも言われたが、先々令和10年以降に1校になるとしても、スタートは3校ということで、今急いで1校にする必要はないのではなかろうか、という意見。それから、他グループでも意見が出たが、あえて旧町にこだわる必要もないが、地域の行事等コミュニティも考えて統合再編を考えなければいけないのではなかろうかという意見が出た。

議 長:ありがとうございました。本当にいろいろまとめていただき、ありがとうございました。時間も来たようなので、この意見交換を基に、次回以降再編策について審議を行って行きたいと思う。ここで事務局にお戻りする。

事 務 局:松尾会長、進行ありがとうございました。

5 連絡事項

(1)第8回審議会の開催日について

第8回審議会 11月20日(水) 19時～ 役場3階大会議室

(2)その他

6 閉会